

教職員自主的研究推進事業 実績報告書

研究グループ名【 城南小 算数研究会 】

代表者 の所属・ 職・氏名	篠山市立 城南小学校	連絡先	住所	篠山市小枕120
			TEL	079-594-0728
	FAX		079-590-2187	
	e-mailアドレス		el-jonan@school.sasayama.jp	
	教諭 西垣 好子			

活動実績

研究テーマ

「学び合いのなかで わかる できる 児童の育成」

－算数的活動を通した 学びの構築－

1. 研究内容

- ① 「算数キーワード」を使った効果的な学び合いを研究する。
- ② 児童の実態を把握し、基礎的な学習の力を向上させる。
- ③ 学年が進んでも児童が継続して学ぶことができるよう、授業のスタンダードを確立する。

2. 研究経過

6学年9学級、全学級で研究授業を行い、全ての授業に講師を招聘し研究を深めた。姫路大学榎並雅之講師に夏季研修として「学び合い」理論を学び、その後、どのような場面や形態で授業に仕組むかについて授業研究を通して指導を受け研究を深めた

3. 研究成果 授業研究部、学力向上部の2部会で研究を進めた。

(1) 授業研究部の取組による成果

- ・「城南小の学び合い」について、授業での取り上げ方（ねらい・手立て・形態・算数用語を使ったまとめ等）を各学団の系統性に合わせて考え、めざす姿や授業のスタンダード（流れ）を共通理解した。
- ・全員実施の授業研究を通して、中心となる「学び合い活動」における指導者のねらい手立てにポイントをおいて研究を進め、指導案の書き方、ノートの手書きさせ方、思考ツール等も統一して取り組みを進めた。

(2) 学力向上部の取組による成果

- ・基礎学力の充実のため、自学コーナーや校内体験コーナー・算数クイズ等の掲示物を設置し、子どもたちの学びの意識を高める学習環境作りができた。
- ・家庭との連携を図る手引き書の配布、家庭学習週間や学力テストの結果考察から保護者啓発やスキルタイムの充実を図った。

4. 今後の研究課題

以下の点について、授業研究を中心に研究を深め、3年間の研究のまとめとする。

- ・「学び合い」をどのように普段の授業に活かすか。
- ・「学び合い」の深まりをどのように評価するか。
- ・「学び合い」を支える児童の基礎的な学力をどのように育てるか。
- ・「学び合い」を一人一人の考えを練り合うものに位置づけ、授業に仕組む。